

2019年1月号

NO.129 (継続274号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <a href="http://www.forest-kanagawa.jp">http://www.forest-kanagawa.jp</a> 発行人 久保 重明 〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 Te.046-297-0301・Fax046-297-0302

#### 『明けましておめでとうございます』 <理事長 久保 重明 8期>

皆さまにおかれましては明るい良いお正月をお迎えのことと思います。

昨年度は天候不順で活動に支障を来すことが多くありました。しかし昨年中はネットワーク活動で 109 件、学校 関係の活動で 34 件、そして県民参加の森づくり活動で 18 件と大過なく終えることが出来ました。これもひとえに 皆様方のご努力の賜物と感謝申し上げます。

昨年は正月恒例の山の神祭を行うと共に、力強い仲間 15 期生 38 名を迎え、会の総勢は 293 名となりました。 会では年間 24 回程度のブラッシュアップや研修会を開催しており、これらを利用し技術と経験を積み、早く一緒に 力を合わせ活動して行きましょう。

会の新たな動きとしては、昨年3月の理事会にて県指定 NPO の指定について提案し承認され、6月の総会に おいて会員への説明がなされ同意が得られました。今後、指定に向け準備を整えて行くことになります。もう一つ 重要なことは、昨年10月に第一回目の選挙管理委員会が開催され、理事選挙が進められており、今年の初めに は次期の理事が決まります。会を運営していくフレッシュな理事が現れることを期待しています。

会は最近、大きな活動を行うに際して客先からコアメンバーを決めることを要請され事業部会体制を取らざるを 得ない状況が生れつつあります。湯河原の万葉の森、SMAS の森そして蟹田沢のビオトープなどがその例です。 しかし会員は基本的に参加したい活動に自由にエントリーできるのが原則であり、ネットワーク活動を含め、派遣管 理体制を再検討する時期に来ていると考えています。

昨年3月に県の森林再生課から国の森林環境譲与税についての説明をして頂きました。2024年に税制改正 で、2019 年に前倒し実施するとのことですが、具体的な内容は現時点では明確になってはおりません。会がお手 伝いできるものがあればと期待しております。

最後になりましたが、平成29年度の決算では財政健全化の兆しは見え、平成30年度の上半期時点でもその 傾向は継続しています。これは必ずしも事業収入増によるものではなく会員皆様のご理解とご協力による負担に 頼るところが大きい状況です。 平成 30 年度の決算内容の分析やこれからの事業展開を見ながらできるだけ早く負 担軽減を図りたいと考えております。

## 鶴岡八幡宮手斧始式

(毎年1月4日に執り行われます)

起源は、1181年に源頼朝公が八幡宮造営時に行った「若宮営作始」が執り行われた事に始まる。

若宮大路の二1鳥居から神職の先導で建築 業の人々が木遣音頭を歌いながら御神木 (長さ388 cm、28 cm角)を舞殿まで運びます。

降神の儀

御神木奉安

説明文は鶴岡八幡宮発行の 『手斧始式の由来』書より抜粋 ・写真撮影は平成30年の式時

(混雑で手振れ等有ります) 撮影:広報 松本

式で使う道具・工具



1. 幣振役 2. 工匠 斧振りを奉仕 尺杖を使う



3. 鋸役 鋸を使う



4. 墨打役 墨打ちを奉仕



6. 槍鉋役 5. 手斧役 手斧打ちを奉仕 槍鉋を使う













自然観察部会 第92回森林探訪 共催: 丹沢大山自然再生委員会

## 飯山観音と錦繍の白山順山 「気持ちのい事丹沢山麓の尾根道を歩く」

日時:平成30年12月1日(土)8:50~15:00 晴れ 参加者:34名

コース:飯山観音-白山山頂-むじな坂峠-物見峠-順礼峠-七沢森林公園・管理事務所(解散)

**<記: 小貝 眞 14期**> (写真協力: 山口 正志 14期)

鬱蒼としたスダジイ・タブノキの森林に抱かれた飯山觀音の歴史散策、澄んだ空気に緑・黄・橙・紅色と光のグラデーションが映える紅葉、ファンには嬉しいハマの番長(三浦大輔)が自主トレで登った白山を登ります。天気、紅葉のタイミングにも恵まれ、自然観察、ハイキング、歴史探索、などさまざまな目的の人に楽しんでいただけたと思います。

本厚木駅より約30分、飯山観音前バス停で下車。金剛寺横で受付・オリエンテーション・体操後、飯山観音に向かいました。飯山観音の正式名称は「飯上山長谷寺」。坂東三十三番札所第六番の札所。「飯山の隠鐘」の伝説で有名で、観音堂は江戸中期のものとのこと。ここから白山への登り口は観音堂とスダジイ・タブノキの森林の間を抜けたところにあります。登り口には電気柵の扉があり、ここから動物との共存エリアに入っていきます。登山道は谷あいの女坂を使って登って行きました。カエデ類、フウ、トチノキ、キブシ、クヌギ、コナラ、ケヤキの紅葉のほか、ナキリスゲが印象的でした(これで菜が切れるのかな)。また、途中のイロハモミジの紅葉は、「今までに見たことがない」と参加者が言うほどの見事なものでした。紅葉を楽しみながら、ゆっくりとしたペースで登り、50分程で「白山山頂」(284m)の展望台です。関東平野が一望でき、ランドマークタワーが見えました。振り向くと大山が。ゆっくり展望を楽しみたいところですが、先を急ぎます。

ここからは「順礼峠」の方に向かって登り下りを繰り返す尾根道を行きます。 急な下りを降りて、尾根道の広い所で昼食をとり、そして再出発です。コマユミの透き通った紅葉が目に入りました。そして登りです。6 つの土地を結んだという、「むじな坂峠」(235m)に着きます。ヤマザクラのほかにイヌザクラの紅葉が見えます。ムラサキシキブの紅葉はまだでしたが気品のある紫の実がきれいでした。

続いて、下ってコマユミの紅葉、コウヤボウキも名残惜しむように咲いていました。登って、かつて物見台であった「物見峠」(240m)。イタヤカエデ、ダンコウバイの紅葉が見えます。乾燥した土壌に生えるセンボンヤリの冠毛がかわいかったです。ここからは鎖の付けられた急な階段を下ります。ガマズミの紅葉はまだで、赤い実が付いています。しばらくして大きなモミ、大きなアカマツ、そして幼い子ならたやすく見つける赤い実の1つなったヤブコウジに出会いました。最後に電気柵を出て、まもなくして巡礼者でにぎわった「順礼峠」に到着。そして七沢森林公園・管理事務所前で全員けがもなく、無事解散しました。



飯山観音



白山山頂を目指して



イロハモミジの紅葉



電気柵と萌芽更新のサクラ

### スタッフ:看護師 青木様

インストラクター:CL 小池⑫、L 小貝⑭、L 牧石⑭、内野⑨、女川⑨、小林⑩、赤崎⑫、松石⑬、西岡⑭、山口⑭、河西⑮

## 平成30年度 **やどりきの森へ行こう**②! テーマ:家族でお手入れ体験 (間伐)

場所:松田町やどりき水源林19年度成長の森 日時:11月17日(土) 晴れ 参加:4家族10名

<企画: やどりき事業部、インストラクター: 森林部会メンバー、取材: 広報部> 平成 19 年度に植樹してつくった「森」は早くも 11 年目となり、混み入ってきたので光が入るようにす る必要があります。

元気で大きな「森」になるように、少し木を伐って空間を開ける「森のお手入れ」を家族みんなで体験し て頂きました。午前はお手入れの間伐、午後からは間伐した木を使っての簡単なクラフトを行いました。

寄大橋側にバス到着

道具装着 妹の面倒をみるお姉さん

オリエンテーションと準備体操

出発 現場に向かう









H19 成長の森 沢を渡って左

橋を渡り 九十九折を上り もう少しで現場に着くよ

凄い!その時 やどりきのスターカモシカのお迎え

到恙









選木 この木を切るの?

先ず受け口、次に追い口



私も負けずに伐る



作業終了 疲れた!!



帰りのバスで新松田駅に













## 「やとりきの森へ行こう ③!」

2019年3月16日(土)

新松田駅北口8:30集合

イベント当日は、水源林ゲート前まで臨時バスが 乗り入れます! (運賃各自負担:片道 620円)

【群生するミツマタの開花を観察:募集50名 早春に咲くミツマタ観察は人気の定番コース 新松田駅集合8:30 ⇒ 新松田駅着14:10

- ▶ 問い合わせ先: 公益財団法人かながわトラストみどり財団 みどり森林課 TEL:045-412-2255 web サイト: www.ktm.or.jp
- 申し込み先: NPO法人 かながわ森林インストラクターの会
- 住 所〒243-0018 厚木市中町 2-13-14 サンシャインビル 604 E-mail: k-inst0981@friend.ocn.ne.jp イベント名・日時、参加者全員のお名前、住所、電話番号を記入の上、往復はがき、又はメールでお申し込みください。

#### 活 動 短

今回の掲載は10/15~10/27です。 寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降 の掲載になるものもあります。



フリーイラスト より



**菊花開** 10/13~10/17 頃 きくばなひらく 菊の花が咲く 第五十候 寒露 次侯

**霜始降** 10/23~10/27 頃 しもはじめてふる 霜が初めて降りる 第五十二候 霜降 初侯

活動短信への投稿概略フォーマットと略語の説明 ページレイアウトは気にせずベタ書きで結構です。 (できれば Word、メール直筆でも OK。 Excel はできるだけ 避けてください。改行等の処理に手間を要しますので) 写真もあれば1枚添付ください。

### ◆ 活動団体·活動名 等

日付(できれば時間と天気も)

場所 (例:相模原市緑区 長竹承継分収林)

参加者 人数

神奈川県 環境農政局 緑政部

水源環境保全課 水源の森林推進グループ

財(公財)かながわトラストみどり財団、看 看護師

スタッフ 例 小田原市森林組合XX様

例 川崎市公園緑地協会·XX様

インストラクター (○数字:期) 研:研修枠 以下の本文を概ね400字前後を目安として執筆ください リーダーは責任を持って執筆者の選択と執筆後のチェック をお願いします。(執筆者もお忘れなく!!)

## ◆ 逗子市立逗子小学校 林間学校

|日| 10月15日(月)9:00~14:30、曇り

場 愛甲郡愛川町 県立愛川ふれあいの村

参 小学5年生148名、教師5名、補助2名

スタップ 愛川ふれあいの村職員2名(焼き板作り)

L西出⑫、柏倉④、小野⑦、渡部⑦、 鈴木⑧、小沢⑨、村井⑨、松本⑪、 松石(3)、小松(4)、牧石(4)、塚野(5)

当初の予定は高取山登山でしたが、下見時、台風によ る倒木で登山道が通行できないことが判明し、愛川ふれあ いの村での「自然観察(木ラリー)」と「焼き板作り」に変更と なりました。

「木ラリー」は、村内の主な木に付けられた札に「番号」と 「木の特徴」が書いてあり、用意された地図に記入された 番号の木を探し当て、子供達が葉の形と特徴が示された 解答用紙に木の番号と名前を記入します。その後、インス

トラクターが木にまつわる話をします。楽しみながら木を探 して、樹木に関する知識も吸収してもらうのが目的です。

子供たちはグルー プ毎にインストラクタ ーと一緒に歩きなが ら、生きた化石と言 われるメタセコイア や、枯葉がおせん



べいの香りがするカツラなどに興味を示していました。

昼食後は、集会棟内でふれあいの村の職員の方の指 導で「焼き板作り」をしました。 バーナーで黒くあぶった杉 板に子供達は思い思いに絵をかいたり、名前を書いたりし て、楽しんでいました。

(記 西出 健一 12)

### ◆ 株式会社カナエル 森林再生パートナー活動

日 10月17日(水)9:20~13:00、晴れ

場 南足柄市内山 県立21世紀の森「マダケの展示林」

参 19名(男性16名、女性3名)

1 L村井⑨、竹内15

朝方の雨が上がり、雪を冠した富士山が青空にくっきり と浮かぶ、絶好の活動日和でした。カナエルのみなさんは いつも早めに集合するそうで、10時開始の予定でした が、9時過ぎにミーティングを始めました。

リーダーが、①タケは地際で切る②枝葉は鋸で落とす ③玉切は2mに揃える④ゴーグルで目を守る、などを説明 しました。ストレッチ後、9時35分作業開始。左右の道に 分かれて、2班体制で進めます。 殆どが細い竹で、倒れた り、曲がったりで先が見通せないほど密集しています。太 めの竹を探して杭にし、カケヤで打ち込む集積場作りも体 験して頂きました。作業に夢中で水分補給も取らない方が 多いので、全体休憩を2回取りました。12時半頃から周辺 を片づけて見直し。みなさんは見通しが良くなった作業場 の様子に満足されたようです。

12時50分、倉庫前に引き上げ、鋸・ヘルメットの清掃を して、秋の活動は終了しました。

> (記 竹内 明彦 🚯)

### ◆ 横浜市立善部小学校 「21世紀の森 自然観察」

10月19日(金)10:00~13:30、曇り

南足柄市内山 県立21世紀の森 金太郎コース~アオキのコース~どんぐりコース 参 小学5年生2クラス76名、教師10名、他1名

L村井9、柏倉4、宮本4、小沢9、杉崎10、 松石13、塚野15、飛田15

活動前にどんどん厚い雲に覆われ悪天候を予測しリーダーが窓口の先生と相談し、「天然の森コース~セントラル広場」を変更して「金太郎コース~アオキのコース~どんぐりコース」の自然観察にしました。

前日の宿泊体験を経ての生徒を乗せたバスは予定通り 10 時に到着し開会式をスタートさせました。

担当各班の生徒数は10名から8名をです。他の班では種の散布、木の実、昆虫(蜘蛛)の観察、保健保安林の話し、葉の香り(クサギ、マツカゼソウ、カツラ)、ドングリの種類、スギ、ヒノキの無花粉の木。水源林涵養林の仕組み、引っ付き虫、ムクロジの石鹼、こぶしの実の不思議、椿とサザンカの違い、地衣類の話し、ヤブレガサ、ショウジョウバッタなど、たくさんな自然を観察できました。

私の班ではドングリの種類は4つの仲間があること、花 粉や種や木の実が 自分たちの仲間を増やすために 色々と工夫していること、土に触って見てどうしてフカフカ なのかを尋ねたりしました。テントウムシ、カメムシ、風媒花 の説明もしました。

今回は、コースを変更したので山歩きはできませんでしたが、今日のコースで自然観察をゆっくりとできました。

(記 塚野 久美子 (5))

かながわしずくちゃん Facebook は下記URLで見ることができます。

かながわの水源環境の 保全・再生をめざして

https://www.facebook.com/kanagawa.sizuku

### ◆ 伯東グループ 第12回森林活動 間伐

日 10月20日(土)10:30~12:00、晴れ

場南足柄市塚原

森林活動指定地(塚原ボランティアフィールド)

参 17名

1 L 村井⑨、中村⑪、斉藤⑬

伯東(株)様は下草刈り、枝打ちも経験されていたので 今回は間伐をご希望された。

爽やかな秋晴れの朝、10時半に伯東様17名がヘアピンカーブ駐車場に到着。挨拶後、村井リーダーより活動時の注意事項の説明。準備体操をして道具を身につけて、早速現場へ移動。道路を渡った向かいの15年生のヒノキ林に入ると日当たりの良い駐車場よりもひんやりとして暗

い。野生動物を撮影するセンサーカメラの位置を確認したり、クサギの葉のにおいを嗅いでみたりしながら各班の作業エリアに到着。3 班体制で間伐を実施、上部の枝が密集していて樹冠が重なり合い掛かり木に少々苦労した短時間の作業だったが、5 本伐倒。皆様、森林活動でノコギリの扱いは慣れていらっしゃるようで、枝払い、玉切りと整理まで手際良くこなされ、終始楽しくチームワーク良く活動されていた。

土色の花をひっそりとつけたカントウカンアオイが静かに 私達の活動を見守ってくれていたヒノキ林からは、間伐後 少しだけ秋の青空が見えた。

(記 斉藤 夏葉 (3))

# ◆ JXTGエネルギー株式会社「ENEOSみらいの森」森林保全活動

日 10月20日(土)、晴れ

場 足柄上郡松田町 やどりき水源林

参 129人(大人111人 子ども18人)

県 前原副主幹 橋本副技官

☐ L上田⑩ 木村⑭ 永野⑥ 齋藤⑧ 湯浅⑪

山口(1) 佐藤(5) 有坂(8) 久保(8)

真部(3) 江頭(3) 吉田(1) 山下(1)

森本(5) 菊地(1) 小松(4) 門沢(12)

### ·間伐

間伐体験は5班編成で、各班1本を伐倒した。1班は 比較的傾斜のきついところで、樹高も20m級の杉で条件 は厳しかったが、チームワークよく掛り木にもならず時間 内に完了することができた。2班から4班はヒノキの間伐 で密集したエリアでの間伐にも関わらず丁寧な作業によっ ていずれも問題なく伐倒できた。いずれの班も初めて体 験する人もいたがチームワークが良く安全に作業をするこ とができました。

### • 丸太筋工

昨年の筋工に接続して2スパンを設置した。間伐材を製材したラウンド丸太を使用したため、仕上がりはよくできた。2班は昨年施工した筋工の高さに合わせるため現場の間伐材を横丸太として利用してなじみよく仕上げた。資材を現場まで運搬しながらのハードな作業だったが手際よく作業が進み余裕をもって完成させることができました。

### ・ログヘッジ

間伐材を利用した水みちの表土の流出を防止するための作業で、エリア内にある間伐材を施工場所まで運搬し谷

の大きさに切断し積み上げてゆく作業で、足場の悪い中 での集材作業が大変であったが、予定通り2か所に施工 することができました。

### 清流ウオーク

寄沢の水量はちょっと多めだが、特に問題はないと判断し集会広場から寄沢に入った。参加者は16名。全員若くて元気なグループあるが、万一を考慮し先頭と最後尾にインストラクターが付き1班体制で歩き始めた。

滝郷の滝への道は橋の両側でアルミ棒を持ち一人ひとりその棒を支えに歩いてもらう。滝は十分な水量でダイナミックな瀑布を体験し、再び河畔を上流に向かって歩いた。岩がゴロゴロしているのを縫うように川岸を歩く。途中腹ばいになったり岩を抱きながら移動したり・・・短い距離ながら普段歩く道とは異なった変化に富んだ沢歩きを楽しんだ。

### •自然散策

自然観察班はBコースを散策した。入口付近には台風で 小さくちぎれたスギやヒノキの枝葉が散乱していたがコース上に問題はなく、心地よい風と清浄な空気に満ちた森の 中を気持ち良く歩くことができた。途中、いつになく澄んだ 沢の流れに沿って進みながら、森が雨水を貯めてきれい な水を生み出してくれる水源であることを確認できた。紅 葉にはまだ早いが足元にはカンアオイの花、キノコの大き な株、どんぐりの出根などがみられ、地面の近くの営みに 秋を感じることができたように思う。

### クラフト

参加者が40名以上、担当インスト4名であったので、運用(オペレーション)を工夫した。先ず全員に、ロケットラワンを実施。ここで、待ち時間対策も採らせてもらった。このあと、(両サイドからの)丸太切りと鳴り物(ウグイス笛・葉巻笛)を展開。何とか、均一なお待たせしないクラフト体験が出来たものと思う。

天候を心配したが良い天気に恵まれ活動日和になりました。各作業ともチームワークが良く、計画された時間内に、計画されたことがすべて完了しました。

(記:各班リーダー、とりまとめ上田啓二⑩)

## ◆ 神奈川県立足柄ふれあいの村 フォレスターキッズキャンプ②

日 10月20日(土)10:00~16:00、晴れ

易 南足柄市広町 県立足柄ふれあいの村

小学1年生~3年生

49名 (大人7名 子供42名)

スタッフ 足柄ふれあいの村 加藤様、佐久間様

1 L牧石⑭、白畑⑦、小野⑦、

宮下10、星野13、石井(裕)15

小学1年生~3年生を対象とした、第2回目のフォレス ターキッズキャンプ②を実施しました。

今回は、「落ち葉、土の様子、生き物観察、森林の働きを学ぶ、森林づくり体験」の内容で活動実施。午前中は、かながわ森林インストラクターが土壌生物やキノコの菌類等の説明を行った後、子供達が移植ごてを持ち、土や落ち葉、虫をパレットにとった後、白い紙の上に広げ、観察を実施。種類別の点数付けを行い土壌の環境について確

認した後、各班の観察状況の発表を実施。最後に参加者全員でモグラ塚の観察も行い、午前中の活動を終了。午後は村内を流れる沢沿いの



道通り間伐のデモンストレーション場所へ移動、移動中、「水はどこからくるのか」について子供達に問いかけを行い学んでいただきました。移動途中では「水の妖精しずくちゃん」が現われ、しずくちゃんと共に森に降った雨の行方について学びました。14時~間伐のデモンストションを行い、子供たちに木が倒れる迫力を体験していただきました。間伐体験後は間伐材で、一人2枚の丸太切り(カスタネット作成用)を行い予定通り16時に無事終了。参加された皆様、お疲れ様でした。

(記 牧石 稔 ⑭)

### ◆ 日本石油輸送の森 森林活動

|日| 10月20日(土)10:00~12:00、晴れ

場 南足柄市 塚原ボランティアフィールド

参 22名(大人20名、子供2名)

1 L山崎⑦、小沢⑨

バスにて塚原ボランティアフィールドに到着した日本石油 輸送の皆さんは、まずは作業前の"やるぞ"の気構えを前 面に看板前で記念撮影。

道具を装着して頂き枝打ちグループとクラフトグループに 分かれた、下見時に決定した枝打ちは男子グループと女 子グループの作業場所を分ける予定でしたが、なんと男 子グループが行うエリアは既に枝打ちが終了していた為、 全員が同一箇所で行うことに成りました。

枝打ち方法や安全面について説明させて頂き作業開始、枝打ちが進むと木々の隙間から小田原の町が垣間見る事が出来、思わず皆さん手を休め作業の結果と共に感嘆の声が出ていました。

一方のクラフトグループは大人二人、子供二人でクラフト製作、子供達が本日参加された全員の数を作り上げ、枝打ち作業から戻られたグループに子供達が得意げな顔でプレゼントするほほえましい光景が有りました。

終了式を終えヒヤリハットも無く、次回にまたお会いする 事を約し皆さんは次行程へ向かわれました。

(記 小沢 章男 9)



**丹沢の自然再生に取り組む** 丹沢大山自然再生委員会のホームページでご覧ください。http://www.tanzawasaisei.jp/

# ◆ 鶴岡八幡宮 槐の会鶴岡八幡宮槐の会森林活動

- 日 10月21日(日)8:30~15:00、晴れ
- 場 足柄上郡松田町 やどりき水源林広場他
- 縁 槐の会一般参加者 30名及びスタッフ6名
- 県 大西様
- ☐ L高橋⑨、草野⑧、宮下⑩、時田⑩、山下⑪、 真貝⑪、福島⑪、牧石⑭、小林⑭

当日は朝から良い天気に恵まれ、秋の爽やかな空気の中で活動が始まった。

今回の活動は槐の会様より槐の会エリアの整備活動や森林保護活動をしたいとの要望があった。下見では台風によりエリア内に枝の散乱が多く、林内整備活動に多くの人を配置し、経路の階段部分の損傷も見られるため経路補修も計画。森林活動の目玉となる間伐作業も近くに対象も設定し、伐倒時には林内作業従事者等にも一時手を止め見学をして貰うこととした。

参加人員は予想より少なかったため班編成も少なくなったが、各班とも精力的に作業を行っていただき、エリア内の整備は思った以上に綺麗になった。

台風で散乱した林内の整備、経路の損傷した階段部分の補修、間伐作業といった森林整備作業を参加者全員が見たり体験することが出来たのではないかと思う。

午後からは今回初めて檜の葉からアロマ液抽出できる 機器を使用し、参加者へ香りを楽しんで頂く企画を行っ た。抽出に時間がかかるため、その間は癒やし体験をして 貰い、樹冠のゆらぎ・ハンモック・座観と呼吸法等のプログ ラムを順次体験して頂いた。また、自然観察で拾った落ち 葉をトートバッグに転写するグループもつくり、自然観察と クラフト製作の両方を楽しんで頂きました。

クラフトでは作品作りに熱中し、予定時間ぎりぎりまで作業する方もおられるなど、色々なデザインの作品を作られていました。

今回は少人数であったが、好天気に恵まれ参加者の方は作業で汗を流し、癒やし体験や自然観察で大いに自然を楽しんでおられたのが印象的でした。

(記 高橋 修 ⑨)

### ◆ 横浜市立西富岡小学校 林業体験

### •事前授業

- 日 10月18日(木)13:40~14:25、晴れ
- 場 横浜市金沢区 横浜市立西富岡小学校
- 参 小学5年生88名 校長·教師4名

## 1 柏倉④

社会科単元での学習「森林を守り育てる人々」をうけて 実施する「林業体験」で除伐・間伐作業を行う前段階の事 前学習として行う。

内容は学校の要望を受け次の様な柱建てをし、パワー ポイントで行った。

- ①神奈川の森林分布の様子 ②森林の働き
- ③林業の仕事と林業従事者数の推移 ④育林作業の説明 人工林の説明ではスギとヒノキの葉を用意して実際にそ の特徴や違いを理解できるようにした。

まとめに、間伐作業では「協力し合って安全に楽しく取り組む」事を心がけるよう伝えた。

担当教師の熱意が児童にも伝わり、細大漏らさず聞き取ろうとする姿勢が印象的であった。

(記 柏倉 紘 ④)

### •本番

- |日| 10月24日9:30~12:30、晴れ
- 場 南足柄市内山 県立21世紀の森風切水源林
- 参生徒87名 きょうゆ教師等7名 9斑に分け1~8斑が間伐9斑が除伐

### 財 古館様

□ L柏倉④、小野⑦、有坂⑧、小沢⑨、村井⑨、 中村⑪、澤村⑫、西出⑫、薗田⑬、星野⑬ 当日は松田から現地に向から車中から見える富士山に は笠雲がかかり(天気が悪くなると言われる富士山の頂上が雲ですっぽり覆われる気象現象)、東側には薄い霧がかかる空模様でしたが次第に回復して現場に到着する頃には日が射し青空が広がって行きました。

定刻に西富岡小学校の皆さま到着。開会式、インストラクター紹介、リーダーの柏倉より「今日の活動を楽しんで下さい」。そしてヘルメットをかぶり鋸を装着すると顔つきも変わり「いざ出陣」。現場へ向け出発。

森を外から見ることはあってもその中を歩くこと初めてという人もいたことと思います。花の咲いたお茶や実のついたみかんを見ながら15分程で現場到着。

間伐のグループ、除伐のグループそれぞれ作業についてインストラクターより説明の後作業に取りかかりました。間伐のグループでは鋸は以前に工作の授業で使ったことがあるようでした。しかし縦になっている木や細くてくにゃくにゃした枝は少々勝手が違うようでした。「間伐は見ていると簡単そうだけどやってみると難しい」と言う声も聞こえました。除伐のグループは慣れるに従いピッチが上がり時間が来ても止まらないくらいでした。

作業を終え集合場所へ戻り道具を整理し秋の雲の浮か ぶ紅葉の始まった山を前に生徒さんと一緒に昼食を摂りま した。正座をして食べている生徒さんを多く見受けたこと は感動でした。

私たちインストラクターも今回皆さんと一緒に活動できた 喜びを胸にこれからも森林保全の活動に努めていきたい と思います。ありがとうございました。

(記 澤村 徹 ①)

### ◆ 県民参加の森林づくり(間伐)

日 10月24日(水)8:30~13:00、晴れ

場足柄下郡真鶴町岩(真鶴町県行造林)

参 52名

財 内田様、大木様 看 小林様

Ⅰ L水津⑨、佐藤⑤、大道⑥、鈴木(昭)⑦、内野⑨、高橋⑨、辻村⑨、小笠原⑩、松本⑪、東(昭)⑫、北村⑬、國弘⑭、鈴木(淳)⑭、牧石⑭、水野⑭、木村⑭

研 鈴木③、古館③、塚野⑤、佐々木⑤、阿藤⑤、妙泉⑤ 安全パトロール 滝澤⑤、石川⑫

すがすがしい秋晴れとなり、『伊豆の海やおきの小島に 波のよる見ゆ』《源実朝》のような風景を横目で見ながら現 地に到着し作業を開始した。

今回、初めて間伐作業を体験する参加者が多く、又森

林インストラクター養成講座 16 期生も数名参加した。作業 現場は、ヒノキの 29 年生で、作業場所は平坦であり作業 がやり易く初心者や経験が浅い参加者にとって良い作業 環境であった。ヒノキの良い香りに誘われ、作業後に木っ 端を持ち帰る参加者もいた。

予定通り作業を終了し、昼食時に参加者と意見交換を行った。初めて間伐作業に参加した参加者から「映像で見る間伐と違い、実際の作業は、選木⇒伐倒方向の決定⇒ロープ掛け⇒受け口、追い口を切る⇒木を倒す⇒枝払い、玉切り等作業の段取りがあることが良くわかり、大変楽しかった。」「もう少し。木を切る時間が欲しかった。」等の感想があった。

終了後、安全パトロール担当から、インストラクターに対し以下の指摘があった。集合時に作業現場の状況確認と統一した処理方法の徹底を共有する事。受付場所への安全な誘導方法の徹底。作業場所の表示方法、作業時のインストラクターの立ち位置や笛の使いかた等。やっているつもりでできていない事であり、指摘は今後の活動の改善につなげていく。引き続き厳しい指導をお願いする。

(記 水津 敏 9)



かながわ森林インストラクターの会は『緑の募金』の支援団体としても取組んでいます。

全国で5番目/NPO法人で初めて委嘱されています。

### ◆ 横浜市立上星川小学校

### •事前授業

|日| 10月18日(木)9:30~10:15、晴れ

場 横浜市保土ヶ谷区 横浜市立上星川小学校

参 同校5年生 担任教師及び生徒計90名

イ 小野(7)

10月25日に長竹での間伐研修に関しての事前授業。 「生徒には初体験の間伐作業を机上学習で如何に理解してもらえるか」を主眼に極力一方通行にならない様にPC 画面や質疑を交えて実施した。

主な項目として

\*森林のはたらき\*林業の抱えている課題 \*森林を育てる長いサイクル等

林業に関する授業を実施済の為か森林の働きについて は、活発な意見が出て臨時教師もタジタジでした。

持参した資料は\*会H/Pの森林講話

- \*材価の低迷 (大卒初任給との推移グラフ)
- \*間伐作業での伐倒木のロープ牽引配置図・切込み側面 図等でグラフ以外はPC画面に投射して目で見ながらの説 明とした。特に間伐作業は大変危険を伴うことを強調しな がら澄んだ空気の中で存分に楽しんで欲しいとお願いし て授業を終えた。

生徒の皆さんは終始熱心に聞き発言し拙い教師役も大い に敬服したがこれも先生方の日々の薫陶のおかげと思い ます。あとは当日の好天を祈るばかりである

(記 小野 幸広 (7))

### ·本番

横浜市立上星川小学校林業体験学習

- 日 10月25日(木) 9時00分~15時45分 晴れ
- 場 相模原市緑区長竹 承継分収林 愛甲郡愛川町 愛川ふれあいの村、
- 参 小学 5 年生 84 名、教師 7 名、学生ボランティア 3 名 財 古舘様
- Ⅰ L小野⑦、有坂⑧、内野⑨、小沢⑨、高橋⑨、 村井⑨、松山⑩、西出⑫、木村⑭、小松⑭

秋らしい青空のもと林業体験学習としてヒノキの間伐、スプーン作り、ツリーウオッチングを行い、子供たちは元気で、楽しく、満足そうでした。

9時に集合し、はじまりの会で注意事項を説明し、バスで長竹に向から。ヘルメット、手鋸など配布しスギとヒノキの森林に入ると「暗くなった、ひんやりする」との声。9班に分かれて間伐する木の選木、ロープ掛け、伐倒、枝打ち、玉伐りを全員が協力して行い、木が倒れると「やったー」と歓声が上がり、「初めての間伐で楽しかった、またやりたい」との感想。この後は各自でコースターを作り、森林講話をしながら昼食をとり、道具の点検、片付けを行い、ケガもなくふれあいの村にバスで戻りました。

午後は、広葉樹の小枝で柄を作るお手伝いをして、世界に一つのマイスプーンができ、翌日のカレーライスに使うとのことでうれしそう。この後、外に出て大きなメタセコイア、イチョウのギンナン、白い木肌のシラカバ、ハート形の葉のカツラ等々のツリーウオッチングをして「いろんな木があって面白い」と楽しそう。

15時45分に先生、子供たちからお礼の言葉があり、笑顔で見送ってくれる子供たちと握手をして会場を後にしました。

(記 小松 立史 44)

### ◆ 松田町の小学校 森林環境教育

(丹沢大山自然再生委員会 助成事業)

- 日 10月26日(金)、曇り
- 場 足柄上郡松田町 やどりき水源林
- 参 松田小学校59名、寄小学校6名、教師6名
- A 井出①、堀江④、森本⑤、内野⑨、村井⑨、古館⑬

丹沢大山自然再生委員会との共催事業として、「森林探訪」が実施されていますが、今回初めて「森林環境教育」を企画・実施しました。場所は、森の案内人活動、自然観察会など、かながわ森林インストラクターの会の活動拠点であり、多くの実績と知見を有するやどりき水源林とし、やどりき水源林が松田町内にあることから、「地域学校協働活動」を促進することを目的として松田町の小学校児童を対象に選びました。

学校への参加の働きかけにあたっては、松田町教育委員会に仲介を依頼し、小学校長(松田小学校、寄小学校)、松田町教育委員会、インストラクターの会の3者で打合せの上実施を決定し、下見や事前準備を重ねたうえで本番に臨みました。

午前はやどりき水源林の自然観察を通じて、森林の役割や仕組み、水と森林のつながり、森林を守る人々の取り組みなどに気付かせことを主眼とし、クイズなどを取り入れて興味を引きながら進めました(クイズラリー形式)。途中、カモシカを目撃するなど、子供達も十分自然に触れ合うことができたと思います。さらに水源涵養実験も行うなど、短い時間でしたが多彩な活動を行うことができました。

午後は3名のインストラクターが各学校(松田小学校、寄小学校)で、森林講話のプレゼンを行いました。午前の活動を踏まえ、講話を実施することで、より森林が身近になったのではないかと思います。一方、学校へのアンケートでは講話が小学生には難しかったのではないかとの指摘もあり、反省点も浮かび上がりました。

今回初めての企画として、丹沢大山自然再生委員会と の共催で「森林環境教育」を実施しました。学校関係の活動を計画し、企画、運営、実施を行う中で、インストラクター の会における学校関係の活動の幅が広がったのではない かと考えています。

(記 井出 恒夫 (1))

森のめぐみの掲載は、 今月号はありません。 次掲載は2月号です。

## やどりき水源林ミニガイド

### 12月のトピックス

森林文化部会の精鋭が山神への感謝、 1月13日の祭りに備え

### 準備万端 祠の掃除、注連縄飾り



左から小笠原⑩、高橋⑨、菊池①、真貝⑪、 井出①、福島⑪ (12/19 撮影:松本⑪)

### 1月の水源林

山々が冬に霜柱、氷柱、うまくすると雪がみられ、動物の足跡が見られかもしれません。1/13 は山の神祭が開かれます。「森の案人」情報

### (12月、1月、2月はお休みです)

●実施時間:毎週土曜·日曜·

AM10 時·PM1 時, 1~2 時間程度

- ●集 合:水源林入口ゲート前
- ●内容:森林インストラクターが自然観察にご案内します。森林のしくみ手入れなどについて説明致します。参加自由、参加費無料
- \*10人以上の団体は事前に下記までご連絡ください。
- ●問合せ: (公財)かながわトラスト みどり財団 TEL: 045-412-2255

FAX:045-412-2300 • ホームページ: http://www.ktm.or.jp

http://ktm.or.jp/contents/event/h27/yadorikih27.html

E-mail: midori@ktm.or.jp

●やどりき水源林までの道順

小田急線新松田駅または JR 御殿場線松田駅下車、富士急湘南バス「寄(やどりき)」行き乗車約25分。

バス下車後(案内板あり)川沿いに徒歩35 ~40分。

寄大橋の右横が水源林ゲートです。

## イベント情報 & ご案内

先行 お知らせ (2019.8/1~8/3)

森林産業展2019

2019年8月1日[木] - 8月3日[土] 10:00~17:00 長野県 ビッグハット/若里ホール

世界有数の森林国「日本」。戦後に造成され た人工林が本格的な利用期を迎えるとともに 国産材活用の機運が高まり、林業の再生、林 産業の活性化が現実味を帯びてきました。 しかしながら、その実現にはまだ多くの課題が 残されており、川上の林業、川下の林産業、 木質バイオマス、それらをつなぐ川中の流通・加 工業が互いに連携、協業しながら新たな価値 を創出していくことが求められています。2017.5 月、林業・バイオマスをテーマに「国際ウッドフェ ア」は初開催を迎えました。2019 には森林資 源を共通の基盤とする林業、林産業、木質バ イオマスを包括的にとらえ、"森林産業"全体の 活性化にむけた連携・交流を創出する展示会 でありたいとの思いから、「次世代森林産業展 2019(FORESTRISE)」へと生まれ変わります。

◇ 森のなかま原稿募集会員読者の皆様から広く募集しています。<広報全般についてのお問い合わせ>松本 保

 $\begin{array}{l} \texttt{Mail}: \underline{\texttt{matsutamori@jcom.\,zaq.\,ne.\,jp}} \\ \texttt{Tel}: 090-7962-3168 \end{array}$ 

<電子配信担当> 笠原かずみ

Mail: <a href="mailto:happy\_kumakuma711@icloud.com">happy\_kumakuma711@icloud.com</a>

Tel: 090-4137-9265

<メール・手書き原稿送り先> 【本誌】松本 保

〒246-0037 横浜市瀬谷区橋戸 3-46-17

Fax: 045-301-9401

電話連絡先:090-7962-3168
Mail:matsutamori@jcom.zaq.ne.jp
【別冊】黒川 敏史

〒247-0066 鎌倉市山崎 2273-1-515

Tel: 080-5477-2206

Mail: kurokawa.family@aa.cyberhome.ne.jp

【別冊は CC を】 福島 正治 (事務局長)

〒214-0006 川崎市多摩区菅仙谷 3-1-1-204

Tel/Fax: 044-944-9423

Mail: <u>fukky52000@yahoo.co.jp</u> 原稿は随時受付けています。 森のなかまは過去号もご覧になれます。 (ホームページ) <a href="http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01">http://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01</a> (HP 担当 : 井出恒夫)

### 編集後記

★今年、我が家のユズは大豊作でした。ユズ湯(柚子湯)は風邪を防いで美肌になるそうなので、冬至以外の日も入ろうと思います。

(笠原)

★皆様のおかげをもちまして、2018 年 の森のなかま「別冊」も無事に終える事 が出来ました。2019 年もよろしくお願 いします。

今年は元号も変わるし、何か新しいこと がありそうな予感・・・

(黒川)

★ソロキャンプにチャレンジしてきちゃいました。広~い草原のキャンプ場でパチパチと燃える焚き火の炎を見ながら、一人で満天の星空をボッート眺めて過ごす時間、何かロマンです!

(阿藤)

★「月日は百代の過客にして・・・」。 早や幾年月の旅人を迎え送ったことだろう。残り少ない幸先を見定め、新たな気持ちで新年の寿ぎを・・・

(丰田)

★今年2019 はラクビーワールドカップ開かれます。そして2020 はオリンピック。新国立競技場の建設が進んでいます。全国各地の日本固有材のスギ、ヒノキ等を使用。しかし巨木部はある程度の本数が要します。しかし巨木ヒノキは国内には本数がありません。多本数使用する巨木はカラマツを使用。

(松本)

### 年間通読のお申し込み

「森のなかま」年間通読をご希望の方は、 郵便局備付けの郵便振替を利用してお 申し込み下さい。

郵便振替口座 00230-0-2454

かながわ森林インペラクターの会宛まで2000円をお振込み下さい。振替用紙には、必ず、住所、氏名を明記して下さい。振替用紙到着の翌月号から12回/1年間お届け致します。

編集人:松本 保 事務局:福島正治

広報部:薗田栄哉 吉田郁夫

黒川敏史 笠原かずみ 加藤優美 阿藤壽孝、竹内明彦 支援:伊藤恭造 大原正志 江頭淑子

日本最大級2万本のロウバイ園 18個 松田町 寄口ウバイまつり

期間: H31.1/12~2/11 AM9:00~PM4:00

場所:松田町寄口ウバイ園

カーナビ: 寄自然休養村管理センター

足柄上郡松田町寄 3415 TeL0465-89-2960 問合せ: 松田町観光経済課 TeL0465-83-1225 小田急新松田駅

謹賀新年

本年も御寄りください。

宜しくお願いいたします。

山麓のオアシス

緑の募金箱協力店

踏み切り際

